

第1にお客さんの喜び

そが なか お
曾我 中雄さん(71歳)

家具メーカーに勤めていた経験を活かし、別注家具を作る仕事をしています。現在は、高知県産のヒノキを使った木工品、正月は門松をとさのさとなどに出荷しています。木工品を作るときは、角が無いように仕上げることや、自立するまな板、足の付いたまな板など、他にはない手作りならではの商品を作ることを大切にしています。お客さんが直接工場に来たり、電話で「気に入った」と言ってもらえることがとても嬉しいです。

「お客さんの喜び」が第1。元気の続く限り、作れるものの幅を広げながら、色々な作品を作り続けていきたいと思っています。



とさのさとより

子ども達のために毎日元気に明るく!

おおさき ひろし
大崎 博司さん(58歳)

今年4月に春野西小学校の校長として赴任しました。校長になって8年目、子どもたちには、毎日元気に安心して登校してもらいたいので、自分も毎日明るく元気であることを大切にしています。西小学校では、高知大学等と連携して、小学4年生がウミガメの飼育・観察、低学年から地域での農業体験など、学力面以外でも、子ども達の将来を見据えた教育を行っています。素直で優しく、お互いを認め合える子ばかりで、校長としても嬉しいです。

趣味はドライブ。仁ノの海岸線は景色が良くて、おすすめです。学生時代は野球・ソフトボールをやっていたので、テレビ・現地でのスポーツ観戦も大好きです。

春野西小学校より



高知地区 から こんにちわ 今月の〇〇 気になる人

今年6月に開かれた全国大会で、所属する猪野祐二・田中竜雄の2人が優勝に輝きました!

春野町より



Instagramはコチラ!



はるジム
力自慢 大募集中です!
見学・加入希望など、詳しくはお電話ください!
TEL: 090-5718-4841

仲間で・気軽に・楽しく アームレスリング!

かた おか たかし
代表: (左) 片岡 貴さん(41歳)
やまさき ゆうだい
(右) 山崎 雄大さん(40歳)

小学校からの幼馴染2人で、春野町某所にアームレスリングのジムを設立して3年目。現在は15人のメンバーで木・日の週2回夜に活動しています。初めは山崎さんが設立を提案。その後、片岡さんが仕事先で偶然四国3位の実力者と出会ったことで刺激を受け、本格的に活動を開始しました。

アームレスリングの魅力は、練習した分だけ強くなること。そして、勝利した時、観客からあっと湧き上がる歓声を浴びる瞬間の喜びを味わえることです。生涯スポーツでもあるので、年齢を気にせず始めることができます。「仲間で・気軽に・楽しく」をモットーに練習し、一緒に強くなりましょう!

フレミズ活動に参加していきたいです

ふかお みちこ
深尾 美智子さん(35歳)
まほ
真帆さん(4歳)

学生時代の先輩でもある部員さんに誘ってもらったことをきっかけに、昨年6月頃にフレミズに加入しました。ヨガや料理、サシェ作りなど、これからどんどん活動に参加していきたいと思っています。普段は理学療法士として働いています。患者さんそれぞれの状態をしっかり把握し、一人一人に寄り添いながら、元の日常生活が送れるように治療・リハビリすることを心掛けています。

趣味はヨガ・音楽鑑賞・料理。英語を勉強して、海外の方々と交流してみたいと思っています。休みの日は友人とご飯に行ったり、家族と一緒に過ごしています。最近娘が4歳の誕生日を迎えた時は、一緒に動物園に行きました。

平和より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



井上副知事（写真中央）と関係者らでキャンペーンを宣伝

1 高知地区 カレーで夏野菜をPR 県産米ナス・ししとう味わって

ハウス食品㈱は7月10日より、高知県、JAグループ高知と共同で、同県産夏野菜の米ナス、ししとうなどを使用したオリジナルレシピ「高知家 ベジ たべる、夏カレー」キャンペーンを展開しました。同社は、「夏野菜」×「彩り」の旬産旬消・地産地消のカレーを提案することで、全国の産地を応援しています。

関係者ら5人が井上浩之副知事を訪問し、レシピ開発を報告、試食を行いました。TVCMや、県内量販店と連携した関連販売及びチラシの掲載で当キャンペーンの認知度向上を図ります。試食した井上副知事は「野菜を焼くことで、素材の味が良く出ている。彩りも良い」と話しました。

高知県庁本庁舎と西庁舎の地下食堂と高知市役所2階の食堂「せんだんの木」では、オリジナルメニューをアレンジした期間限定の夏野菜カレーを8月末まで期間限定で提供しました。



園児の米ナス収穫を手伝う小島さん

2 高知地区 園児が米ナス収穫・ 青壮年部が収穫体験開く

青壮年部春野本部春野仁ノ地区は7月18日、春野仁西保育園の園児3人を招き米ナスの収穫体験を行いました。収穫は春野町西畑のハウスで行われ、園児には春野ナス部会が作成した米ナスレシピが配られました。

収穫体験に協力した小島隆副部長がハサミの取り扱いと米ナスのトゲに注意することを事前に説明し、収穫時期のナスの見分け方を伝えました。小島さんは「地域の青壮年部として体験を提供し、地域の子供たちに農業の楽しさを知ってもらえれば。配ったレシピを活用しておいしく食べて欲しい」と話しました。

同保育園の津田志保子園長は「収穫した実体験は子供たちの心に残る。給食や家で食べるとき、農家さんへの感謝を感じることが出来る貴重な体験ができて良かった」と話しました。

3 高知地区 役職員・部員で 河川清掃活動



清掃活動を行う職員・部員ら

JA高知県高知地区は環境保全活動の一環として7月9日、仁淀川河川敷の清掃活動を行いました。同JAは「ラブリ パー仁淀川ハートナッシュ」に加盟し、美しい河川環境の保護に努めています。

JA役職員や青壮・女性・園芸部員ら29人が参加し、午前7時から約1時間、草木の生い茂った場所を中心に清掃、バーベキューやキャンプのゴミなどを回収しました。

参加した同地区の今村篤志常務は「JAは自然とのつながりが深く、多くの恵みを受けている。清掃活動などを通じて自然を守ることで、私たちの農業・社会を持続可能なものにしていければ」と話しました。

4 高知地区 種苗会社招き キュウリ品種説明会開く



品種を紹介する浪越さん

春野営農経済センターは7月11日、種苗会社3社を招きキュウリの品種・台木の説明会を開きました。地区管内のキュウリ部会の部員や地区外の生産者ら約40人が出席しました。

営農指導課の浪越城介さんが、同部会の現状を報告後、省力化栽培できる品種を紹介。普及所と協力して成した省力化栽培の動画を使用しながら、摘芯や仕立て、灌水などの方法を説明しました。浪越さんは「生産者にとって負担の大きい作業を少しでも省力化する等、安定した栽培方法を提案することで、生産者をサポートしていきたい」と話しました。

5 高知地区 協同組合らしさを協議 初のワークショップも



ワークショップで発表する参加者

JAグループ高知や漁連、生協、森林組合、ワーカーズコープは7月14日、高知市で第33回協同組合デー高知県集会を開きました。協同組合運動の意義と協同組合の役割を再認識し、相互の連携と協力関係を強めていくことを確認しました。

高知県生活協同組合連合会の西山武代表理事会長は「協同組合らしさとは何かを協議し、持続可能な社会を作っていくために話し合い、成果や気づきを活かし実践・発展させていくことで協同組合運動を広めていきたい」とあいさつしました。また今年初めての取り組みとして「これからの協同組合を考えるワークショップ」を行いました。

6 高知地区 第4期 男の料理教室が開講！



参加者に指導する島田シェフ

JA高知県は7月26日、第4期「男の料理教室」を「とさのさとアグリコレット」で開きました。講師は、現代の名工・島田和幸シェフが担当。「おうちで簡単シェフ二飯」と題して、全4回で開催します。

第1回は「おつまみを作ろう」をテーマに、島田シェフがカツオのさばきや「えびフライ」「ペペロンチーノ」などの作り方を紹介。その後、参加者は班ごとに分かれて協力しながら調理しました。

参加者は「料理のレパートリーを増やしたくて参加した。シェフがおもしろく、次回も楽しみです」と話していました。次回は8月30日に「パンピングの冷たいスープ」などを作る予定です。

適正な残液処理で農薬事故をゼロに!

高知県では、農薬の使用が多くなる6~8月を農薬危害防止運動月間と定め、農薬使用に伴う危害の未然防止に向けた啓発活動を実施しています。今回は、農薬の残液処理について紹介します。

1. 高知県での魚類のへい死

県内において、河川への農薬の廃棄等により、魚類がへい死した事例が発生しています（平成18~27年：22件）。近年では、離農された方が使わなくなった農薬を水路へ廃棄したことで、魚類が大量にへい死し、警察が出動する事態になりました。これは不法投棄にあたり、廃棄物処理法違反で処罰の対象となります。しかし、こういった事故の多くは農薬の残液処理が不適正だったことが原因です。では、未然に防ぐにはどうすれば良いでしょうか。

2. 農薬の残液処理のポイント

農薬の残液を適正に処理するために、以下の3つのポイントがあります。

ポイント1

使用期限以内に使い切る

- ・ 農薬には使用期限があります。計画的に購入し、余らせることのないようにしましょう。
- ・ 調整した薬液はその日に使い切り、残液は散布ムラの調整に使用しましょう。

ポイント2

容器や器具類の洗浄液を水路に流さない

- ・ 容器は内部を水で3回以上すすぎ、洗浄液は作物を植え付けていないほ場にまきましょう。
- ・ 洗浄液が水路等に流出しない場所で洗浄しましょう。

ポイント3

産業廃棄物として処理する

- ・ 農薬は産業廃棄物に該当します（家庭用を除く）。使用期限内に使い切れない場合は、JAの回収制度を利用するか、産業廃棄物の処理業者に委託しましょう。

これらのポイントを押さえ、農薬による事故ゼロを目指しましょう。
なお、万が一、農薬が水路等へ流出した疑いがある場合、
市町村またはお近くのJA・普及所へご連絡をお願いします。



問い合わせ先：中央西農業振興センター 高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターからのお知らせ

高知地区 春野営農経済センター 営農指導課
電話:088-894-5660

厚生労働省

ダニ対策

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

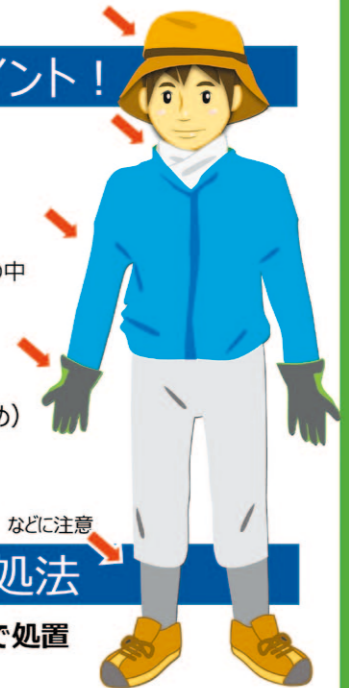
春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント!

- 肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒ サンドル等は避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）
* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしよう
* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしよう
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPを参考にしてください



平成29年4月

[<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>] より引用

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

四万十ポークの特集で、生産者様のこだわりやお気持ちを知ることができ、大変面白かったです。

(春野町森山 36歳)

▼7月号では、柔らかな肉質と良質な脂、強い甘み特徴のブランド豚「四万十ポーク」こだわりの飼養方法や認知拡大の取り組みを特集しています。「生産者の思いが分かってよかった」とのお便りをとても多くいただきました。直販所「みどり市」や直営の販売所で販売されているので、美味しく食べて生産者を応援しましょう！豚肉が一番好きなので、めちゃくちゃ美味しそうな豚丼たちに心ときめきました！食へに行きたいです！

(春野町弘岡中 40歳)

▼特集2では、四万十町各地の飲食店が創意工夫を凝らした、個性が光る「豚丼」を多数紹介しました！写真から匂いが伝わってくるような、魅力的な豚丼が勢ぞろい！私の個人的なおススメは道の駅あぐり窪川の「窪川米豚丼」。神西味噌の甘だれが絡んだ豚肉と仁井田米の相性は最高なので、ぜひ味わって欲しいです！

これからも農家が農業を続けていくために、どんな政策が必要かを国に訴えていく必要があります。今後ともこうぐりでも国への要請などを取り上げていって貰いたいです。

(春野町仁ノ 47歳)

▼7月号トップニュースでは、5月に行われたJAグループ高知と県選出与党議員との政策懇談会をお伝えしています。JA常勤役員と青年連盟役員より、令和5年度の食料・農業・地域政策の推進に向けた政策の提案と農業現場の課題を伝えました。これからはJAグループ高知として、農家が農業を続けていけるように、国に要請を続けていき、こうぐりでもその取り組みをお伝えしていきます。

食品の値上げが続く中、冷蔵庫にある食材で簡単に美味しく作れるレシピの紹介はいつも楽しみです。アレンジのアドバイスもGOOD！

(高知市昭和町 61歳)

▼うちんくの台所では、土佐香美地区香北支部の女性部さんが「シイタケ丼」「ミソのもちもちチヂミ」を紹介してくれました！シイタケ丼は具材を変えるだけでアレンジが出来るので、ぜひお試しあれ。それにしても、食品に限らず、最近の値上げは激しいですね…。

すぐおいしそうなおロールケーキですね。買に行きたいです！

(高知市神田 50歳)

▼コチットのイチオシ！では高知地区よりスイーツの専門店「マッコらんど」を紹介。一番人気の「ちやまごdeロール」は、男女問わず幅広い世代から人気とのこと。クッキーシューやプリンなどもあるので、全部食べてみたいですね。

いつも素晴らしい内容の広報誌をありがとうございます！

(高知市泰南町 84歳)

▼ありがとうございます！これからも組合員・地域の皆さんに楽しんでいただけるような広報誌づくりに励んでいきますので、応援よろしくお願います！



【連絡先一覧表】

高知地区（春野町）

企画組合員課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

共済普及課 894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター
(事故処理) 821-6015

(株)JAエナジーこうち
春野給油所 828-6212

ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間)
0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの
直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

配送部門 828-6113

販売課 894-2222

営農指導課 894-5660